

Title	下腹部の廻轉横斷像に就いて
Author(s)	小野, 壽雄
Citation	日本医学放射線学会雑誌. 1955, 14(11), p. 711-713
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/15764">https://hdl.handle.net/11094/15764</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 下腹部の廻轉横斷像に就いて

大阪逓信病院放射線科(指導 嶋崎敏郎部長)

小 野 壽 雄

(昭和29年10月19日受付)

### 〔内 容〕

- I) 緒 論
- II) 撮影方法、及び撮影条件
- III) 成 績
- IV) 考 按
- V) 結 論
- VI) 文 献

### I). 緒 論

既に女子骨盤の水平面と一定角度の断面に於ける廻轉横斷撮影に於て報告せるも余は健康と思われる成人の生體に就て廻轉横斷撮影を行い水平の断面で骨盤、大腿骨頭部、髌臼窩が如何なる形態及び位置にあるかを10名に就て觀察圖示する事を得た。

### II). 撮影方法及び撮影条件

S S式廻轉横斷撮影装置、及び單相全波整流、300mA S.D.R. 10、イーストマンコダックフィルムを使用す。

撮影前に管球焦點と被檢者廻轉台軸間の水平距離は1.4米に調整し被檢者を廻轉台上に起立せしめ側方より壓迫板にて固定す。フィルム廻轉台を水平に保たしめX線中心線と水平面のなす角度は10~12度にて撮影す。

管電壓90.5KV,管電流30mA,曝射時間は13.5秒の撮影条件である。(備考:1廻轉に要する8秒の中4.5秒間曝射,3.5秒は曝射を中止す。之を3回繰り返す)。

### III). 成 績

イ), 股關節の高さに於ける横斷像

第1圖に示す如く體の左右兩側に對稱的な位置に於て且つ稍と腹側に偏し寛骨と大腿骨頭部にて

形成せる骨陰影、即ち圓形の骨頭部が髌臼窩に側方より嵌入す。

ロ). 恥骨の高さに於ける横斷像

第2圖に示す如く腹側に近く中心線に對し左右對稱的にハ字形の恥骨断面像を認め其の背側中心に近く金屬板を附着せしめたる子宮頸部の陰影あり、それをはさみ左右對稱に寛骨断面、其の外側に大腿骨の断面像を認む。

ハ). 第5腰椎棘狀突起一横指下方に於ける横斷像。

體の背側に仙骨の断面像を認め其の兩側に仙腸關節の間隙を對し左右對稱的に翼狀の腸骨の接するを認む。

### IV). 考 按

余は以上の如く下腹部を種々の高さに於て廻轉横斷撮影を行い仙骨、腸骨、寛骨、恥骨及び大腿骨の断面の形態及び位置を確認する事を得た。一般のX線撮影による寫眞像は種々の像の重複なるも本撮影法による寫眞像は0.3耗の層のもののみ撮影され、且つ實物の1.43倍擴大されたものである。

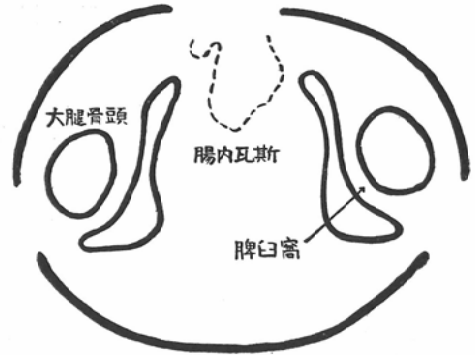
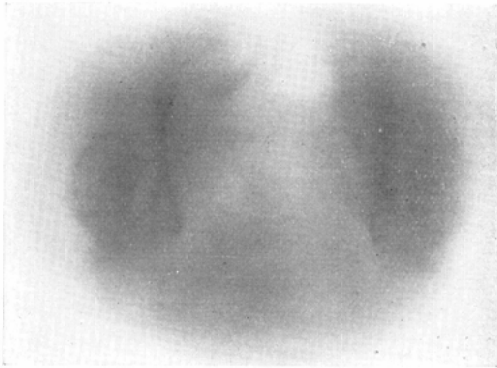
本撮影法によれば骨盤の骨折、變形、骨腫瘍の發生位置を確認、又X線治療に於て照射方向決定、皮膚病巢間の距離測定が可能であり今後臨床方面に應用される場合余の撮影条件、成績が参考になれば幸甚である。

### V). 結 論

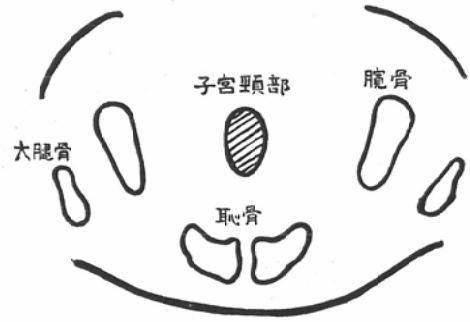
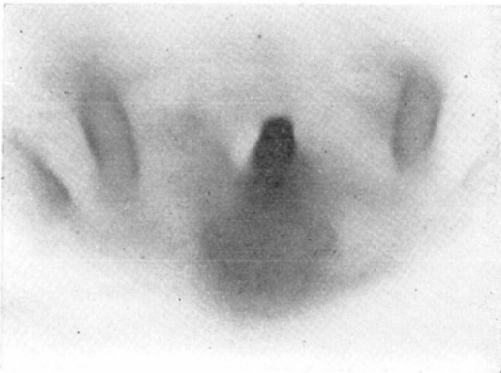
1). 成人10名の下腹部廻轉横斷撮影を行い骨の位置形態を觀察し得た。

2). 本撮影条件に依るもX線像は個人差により明確さを缺く點が有り今後研究を必要とす。

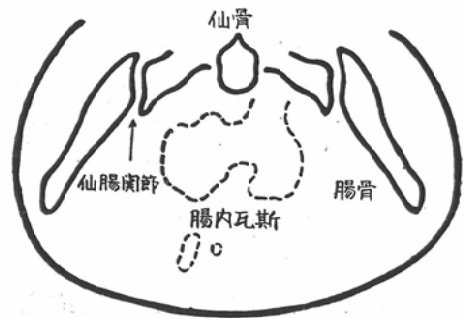
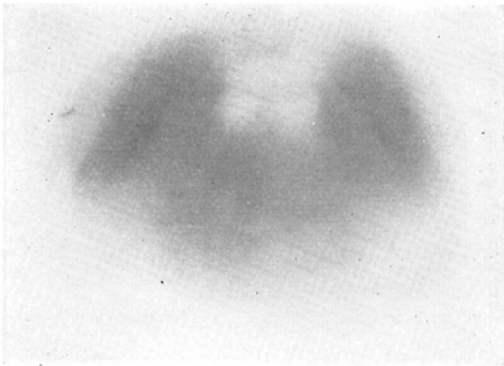
第 1 圖



第 2 圖



第 3 圖



文 獻

1) 嶋崎敏雄：日醫放誌，第12卷，第5號。 —2) 嶋崎敏雄：逕信醫學，第5卷，第6號。 —3) 小野壽

雄：日醫放誌，第13卷，第3號。 —4) 西成甫，他4名：臨床人體橫斷解剖圖說。

On the Rotatory Cross Section Radiography of Lower Belly

Ono Toshio

X-ray Dept. of Osaka Communication Hospital

(Under the leadership of Shimazaki Toshio, the Chief)

The auther applied the Rotatory Cross Section Radiography to the lower bellies of healthy adults by means of the S.S. style rotatory cross section radiography apparatus, and could observe and illustrate, in cases of ten of them, in what form and in what station the pelves, upper thigh-bones, articulation-cavities and neck parts of wombs were on the horizontal section. By this means, it is possible to confirm the break-down and transfiguration of pelves, the original part of bone-abscesses, or to decide the direction of illumination and to measure the distance between the skin and the diseased parts in the case of X-ray treatment. In case of further application of the above radiography in a clinical way, the auther hopes the researches will benefit you.